



# 地震発生時対応・避難誘導マニュアル

## 1. 基本方針

1. お客様の安全確保を最優先
2. スタッフは冷静に行動し、役割分担に従う
3. 河川特有の二次災害(落石・増水・天然ダム)に最大限注意
4. 岩原地区の避難所(岩原地区公民館)へ迅速に誘導
5. 外国人観光客にも対応できるよう、英語案内を準備

## 2. 地震発生時の行動フロー(全体)

1. 揺れを感じたら即座に安全確保
2. ツアー中か、ベース内かを判断
3. 点呼 → 負傷者確認 → 二次災害の危険確認
4. 避難の要否を判断(建物・斜面・河川状況)
5. 避難誘導(徒歩で岩原公民館へ)
6. 避難所での団体管理(名簿・体調管理)
7. 役場・消防・警察との連携

## 3. ツアー中の対応

### 3-1. ラフティング中の地震発生

#### ● ガイドの行動

- 「STOP! Move to the shore!(岸に寄ります!)」と声を出す
- 崖下・落石の危険がある場所を避けて着岸
- ボートを固定(流出防止)
- 全員の点呼
- 負傷者の確認
- 余震に備え、斜面から離れた安全地帯へ移動

#### ● 注意点

- 地震後は落石が増えるため、崖の角度が急な場所には絶対に近づかない
- 河川の水位上昇の可能性があるため、川から離れた高い場所へ移動
- 天然ダム(上流の土砂崩れによるせき止め)に注意

## 3-2. キャンオニング中の地震発生

- 速やかに滝・落石の危険がある場所から離れる
- ロープ使用中の場合は安全を最優先し、無理に続行しない
- グループを一箇所に集め、点呼
- ガイド同士で無線連絡
- 下山ルートを確認し、安全なルートで下山

## 4. ベースでの対応

### 4-1. 揺れを感じた直後

- お客様を建物から離れた安全地帯へ誘導
- 落下物・ガラス・棚の転倒に注意
- 火気使用中の場合は揺れが収まってから消火

### 4-2. 建物の安全確認

- 壁の亀裂
- 天井の落下物
- ガス漏れ
- 斜面の亀裂・湧水 → 危険がある場合は即避難

### 4-3. 駐車場にいるお客様の誘導

- 車内待機は危険（落石・倒木）
- 徒歩で避難所へ誘導

## 5. 避難誘導

### 5-1. 避難先

- 岩原地区公民館
- 状況により町民会館へ移動する場合あり（役場指示に従う）

### 5-2. 避難ルート

- HappyRaftベース → 集落内道路 → 岩原公民館
- 山側の細い道は落石の危険があるため避ける
- 夜間はライトを使用し、複数人で移動

### 5-3. 車避難の原則

- 原則 徒歩避難
- 国道32号は落石・通行止めの可能性が高い
- 車を使う場合はスタッフが誘導し、渋滞を避ける

## 6. お客様対応

### 6-1. 点呼・名簿管理

- 受付名簿で人数確認
- ツアー中はガイドが点呼
- 外国人観光客には英語で説明
  - “Earthquake happened. We move to a safe place. Please follow us.”

### 6-2. 負傷者対応

- 応急処置(止血・固定など)
- 重傷者は119番通報
- 救急車が来られない場合は避難所で待機

### 6-3. お客様の不安軽減

- 明確な指示を出す
- 英語対応可能なスタッフを配置
- 家族・グループが離れないよう誘導

## 7. スタッフ体制(役割分担)

| 役割          | 主な任務                 |
|-------------|----------------------|
| 現場責任者(リーダー) | 全体指揮、避難判断、役場との連絡     |
| ツアーリーダー     | ツアー中の安全確保、点呼         |
| 避難誘導係       | お客様の誘導、英語対応          |
| 救護係         | 負傷者対応、救急連絡           |
| 情報係         | SNS・電話での情報収集、スタッフ間連絡 |
| 装備管理係       | ボート・装備の流出防止、危険物の撤去   |

## 8. 河川特有の二次災害リスク

## 8-1. 地震後の増水

- 上流の土砂崩れで水が濁る → **増水の前兆**
- 天然ダムが決壊すると急激な増水の可能性

## 8-2. 落石

- 余震で落石が増える
- 崖下には絶対に近づかない

## 8-3. 装備流出

- ボート・パドル・ヘルメットは必ず固定
- 流出した場合は追わない(危険)

# 9. 避難所での団体管理

## 9-1. 団体受付

- HappyRaftとしてまとめて受付
- 名簿を提出
- お客様の体調を確認

## 9-2. 避難所での対応

- 水・食料の配布
- 高齢者・子どもを優先
- 外国人向け案内(英語)
- スタッフは常にお客様の近くに配置

# 10. 緊急連絡先一覧

- 大豊町役場 0887-72-0450
- 嶺北広域行政事務組合消防本部 0887-76-2806
- 嶺北広域行政事務組合大豊分署 0887-73-0600
- 警察(豊永駐在所) 0885-75-0101
- 大杉中央病院 0887-72-1003
- 嶺北中央病院 0887-76-2450
- 四国地方整備局(道路情報) 050-3369-6666 もしくは #8011

# 11. スタッフ用チェックリスト

## ■ 地震直後

- 身の安全確保
- お客様の安全確保
- 点呼
- 負傷者確認

## ■ 避難判断

- 建物の損傷
- 斜面の異常
- 河川状況
- 役場の指示

## ■ 避難行動

- 徒歩で岩原公民館へ
- 高齢者・子どもを優先
- 英語での案内
- 二次災害に注意